※令和４年度以降入学生用

学校番号	1208

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　地理総合「世界を学び、地域をつくる」　（第一学習社　出版）						
副教材等	新詳高等地理　（帝国書院　出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界の地理的事象や課題について様々な資料を読み取り、諸問題について考える授業を行います。また、世界の地理について、多角的な視点をもち、考察できるよう授業を進行するので、主体的に取り組めるようにしましょう。

２　学習の到達目標

【a:知識及び技能】
・地理をより深く学びそれを活かし、探究するための基礎的な知識や資料の活用の方法を身に着けさせる。
【b:思考力、判断力、表現力等】
・国際的な見方や考え方を身につけ、現代の諸問題に対する見方を身につけさせる。
【c:学びに向かう力、人間性等】
・地図や地理的環境や人々の暮らしに対しや多面的に考察し、新たな課題の発見と社会の変化に気づこうとする意識を身に着けさせる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本的な地図や GIS の概念と活用方法を知り、活用している。 世界の気候や地形や生活文化の基本を知れている。各地域の生活文化（産業、気候、宗教など）に対して知り、それが現代の人々にどう影響しているかを知れている。	基本的な写真やデータ、GIS など多面的な見方や読み取り方を用いて、世界の諸問題や自分たちに関することや、気候生活文化に対して、様々な意見や考えを述べられている。また、他者の意見や考え方に対して意見を述べている。	世界を担う一人としての意識をもち、世界の諸問題に対してよりよい社会の実現を視野に多面的に考察しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	地図や地理情報システムと現代社会	第１章　地図や地理情報システムと現代社会 第１節　球面上の世界と地図 1　目的地への行き方 2　地球上の位置 3　世界の時差 4　世界地図の見方･使い方 5　地図から読み取る情報 6　デジタル化された地図 7　地理情報システムの活用 第２節　国家の結びつきとグローバル化する社会 1　国家の領域と国境 2　日本の領域とさまざまな領土問題 3　国家をこえた結びつき 4　交通機関の発達と縮小する世界 5　情報･通信で一体化する世界 6　拡大する世界の貿易と物流 7　グローバル化と人の移動による結びつき	a:　地図や国家に関する基本的な事がらや追究の方法を理解し，その知識を身につけている。 b:　図や国家の結びつきについて有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりして、過程や結果を適切に表現している。 c:　地図や国家の結びつきについて、必要性を理解し、主体的に学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

二学期	国際理解と国際協力	第１章 生活･文化の多様性と国際理解 1 世界の生活･文化を写真でつかもう 2 人々の生活に彩りを与える気候 3「衣」から見る世界 4「食」から見る世界 5「住」から見る世界 6 暮らしを豊かにする産業 7 宗教と人々の暮らし 8 暮らしを楽しむための文化 9 多様性に富んだ世界の人々との共生 第２章 第 1 節 持続可能な社会を目指して 1 持続可能な開発目標(SDGs) 2 地球的課題の地理的な側面 第2節 すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて 1 貧困問題 2 人口問題 3 食糧問題 4 持続可能な水の利用 5 健康･福祉問題 6 教育･ジェンダー問題 第３節 自然と調和した豊かな社会に向けて 1 技術革新と持続可能な産業化 2 限りある資源 3 エネルギー問題 4 都市･居住問題 第 4 節 現役世代将来世代のための地球 1 地球温暖化問題 2 陸地の環境問題 3 海洋の環境問題 第 5 節 平和で公正な社会に向けて 1 世界の民族と民族問題 2 世界のさまざまな紛争 3 さまざまな対立の解決に向けて 4 国際協力とパートナーシップ	a: 生活や暮らしや世界の諸問題に関する基本的な事がらや追究の方法を理解し，その知識を身につけている。 b: 生活や暮らしや世界の諸問題について有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりして、過程や結果を適切に表現している。 c: 生活や暮らしや世界の諸問題ついて、必要性を理解し、主体的に学習に取り組むことができる。	定期考査	定 期 考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

三学期	持続可能な地域づくりと私たち	第１章　自然環境と防災 1 地球規模で見る地形の姿と自然災害 2 人々の暮らしを取りまく自然環境 3 変動帯の自然と防災 4 湿潤地域の自然と防災 5 私たちが出きる災害への備え 第２章　生活圏の調査と地域の展望 1 地域調査の方法	a:　自然環境、人々の暮らし、地域調査に関する基本的な事がらや追究の方法を理解し，その知識を身につけている。 b:　自然環境、人々の暮らし、地域調査について有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりして、過程や結果を適切に表現している。 c:　自然環境、人々の暮らし、地域調査ついて、必要性を理解し、主体的に学習に取り組むことができる。	定期考査	定 期 考査 提出物	提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度